

輸出事業計画

※申請者名：有限会社萩村製茶、品目：茶（抹茶、てん茶）

1. 輸出における現状と課題

（現状）

抹茶やてん茶は国内他産地との競争が激しさを増しているとともに、国内販売価格は長期下落傾向にある。このような情勢により、弊社は、2010年より輸出に適した茶の栽培管理に尽力しており、新たな需要が見込める海外市場をターゲットとして、抹茶を中心に輸出に取り組んでいる。

（課題）

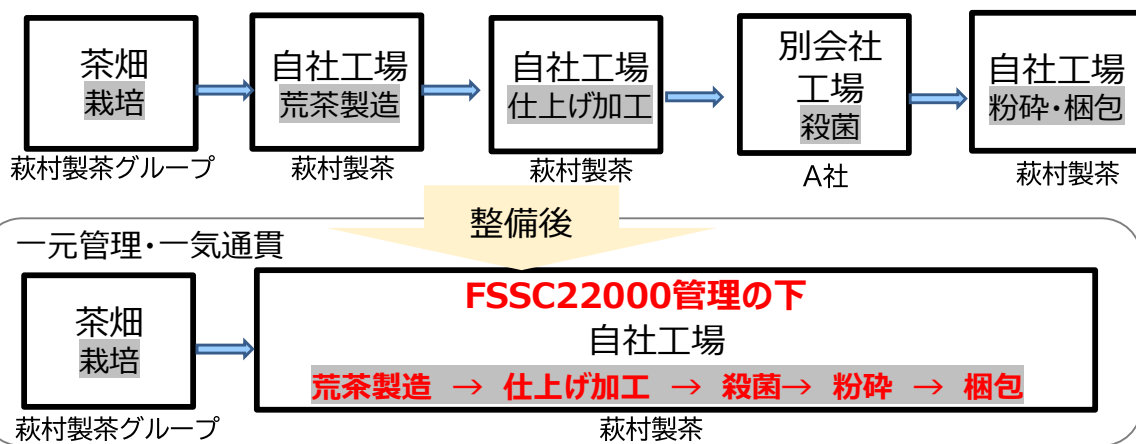
○輸出先国・地域から取引条件としてFSSC22000認証の取得を提示されるが、認証未取得のため輸出拡大の妨げになっている。
○中流層向けの抹茶を使用した商品の需要の高まりから、抹茶（加工食品用）の殺菌加工を要望されている。

2. 輸出事業計画の取組内容



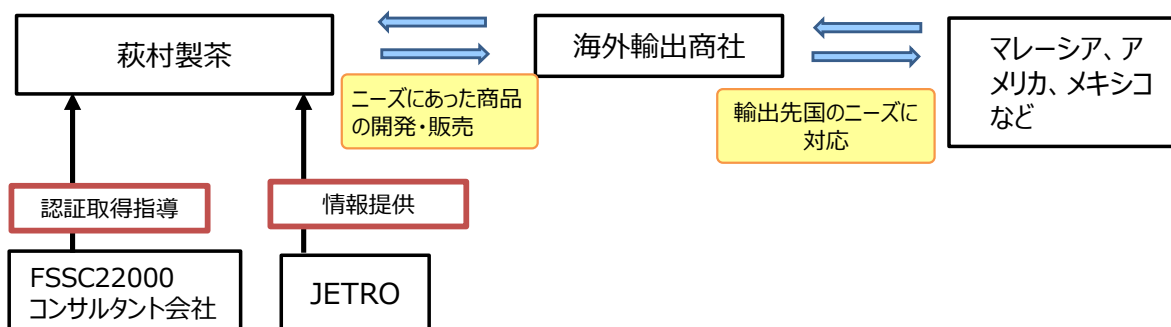
OHACCPハード事業を活用し、FSSC22000認証を取得できる工場として再整備する

○殺菌工程を導入し、原材料の調達から最終製品の生産まで一元管理する



3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

○コンサルの指導を受け、FSSC22000認証を取得できる工場として再整備する
○JETROや輸出商社から情報提供を受ける



4. 輸出目標額

今までのお客様を大切にしつつ、より多くのお客様に喜んでいただけるように、輸出を拡大する



生産品目（抹茶）	現状（2021年度）	目標年（2027年度）
輸出額（輸出量）	10,319千円（2,029 k g）	23,620千円（7,211 k g）
輸出先国	マレーシア・アメリカ・メキシコなど	マレーシア・アメリカ・メキシコなど
生産品目（てん茶）	現状（2021年度）	目標年（2027年度）
輸出額（輸出量）	なし	6,928千円（3,401 k g）
輸出先国	なし	台湾